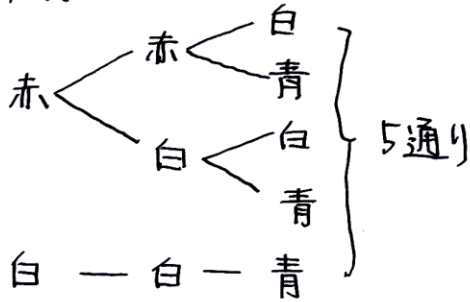


[必修例題1]

箱の中に、赤玉が2個、白玉が2個、青玉が1個入っています。この中から3個の玉を選ぶとき、玉の選び方は、全部で何通りありますか。

(解1) 赤→白→青の順に個数に注意しながら木形図をかいていく。



5通り

(解2) 3個になるように個数を決めていく。

A (2個)	B (2個)	C (1個)
0	2	1
1	1	1
1	2	0
2	1	0
2	0	1

5通り

[必修例題2]

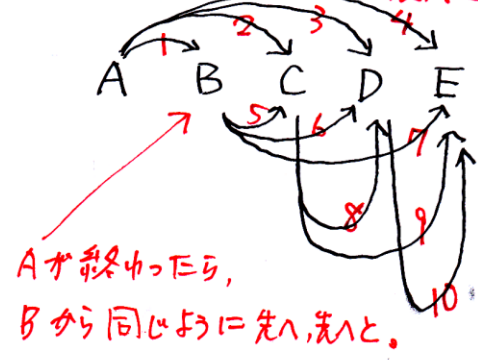
A, B, C, D, Eの5人がいます。この5人の中から、日直を2人選ぶ方法は、全部で何通りありますか。

(A→B, B→A)を往復切符とすれば、(A→B)は片道切符です。

この問題のように掃除当番とか日直などはA→BもB→Aも同じなので、片道の考えです。

一方、委員長、副委員長(と選ぶ)場合はAが委員長でBが副委員長、または逆の、Aが副委員長でBが委員長のときもある。往復切符の考えです。

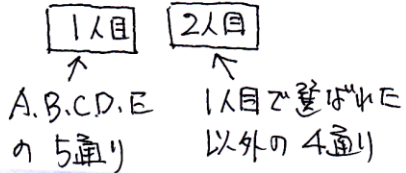
片道の場合は「先へ」「先へ」と数えていきます。



Aが終わった後、Bから同じように先へ、先へと。

10通り

[計算のための方法]



→ 5×4 = 20通り  
これには A-B, B-A も含まれているので、  
20÷2 = 10(通り)

計算の方法は上の内容と理解した上で、やはり